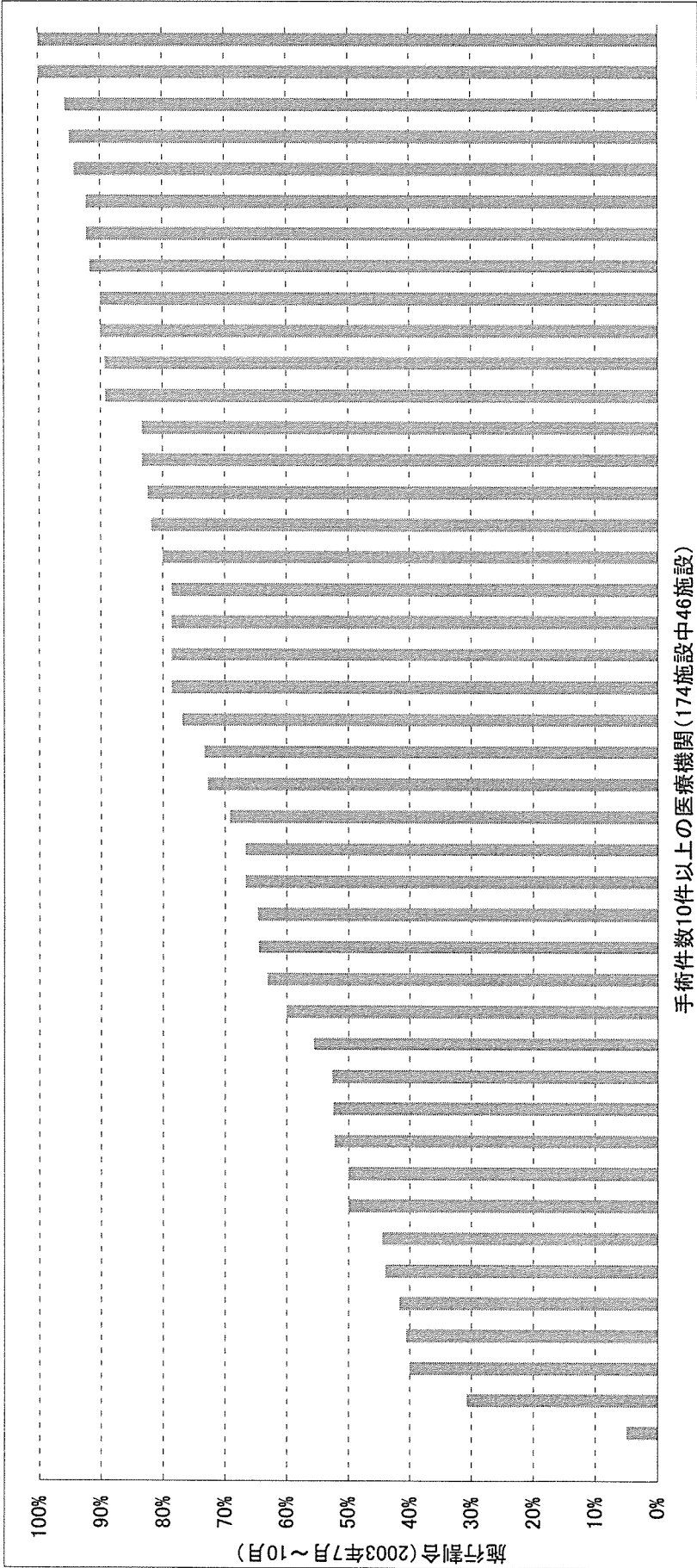


膝関節症における人工関節置換術の施行割合 (N = 794)

解析対象DPC番号の範囲		0702303x02		パーセンタイル								
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術割合	68%	24%	0%	100%	33%	41%	52%	73%	89%	93%	96%



【図の説明】

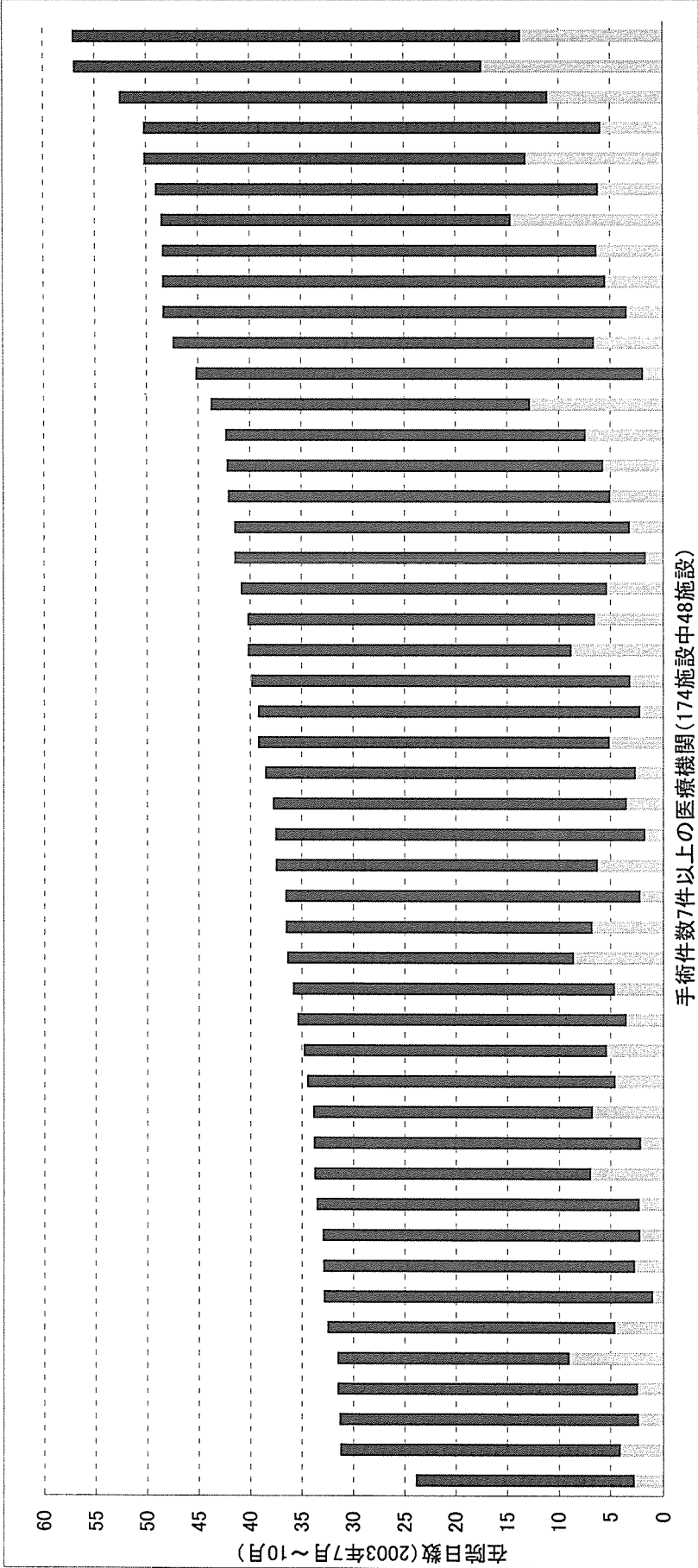
手術件数上位25%の施設を解析対象(10件以上)とした。
：人工関節置換術[DPC手術コード:02 かつ Kコード:K082]

【コメント】

手術件数上位25%(10件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は46施設であった。膝関節症全症例における人工関節置換術の施行割合は、2施設で極端に施行割合が小さかった。施設による症例の違いや治療選択の相違が示唆される。

膝関節症人工関節置換術施行症例における平均在院日数(N = 574)

解析対象DPC番号の範囲		'0702303x02										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膝関節症(変形性を含む)における人工関節置換術施行症例	在院日数	39.9	7.3	23.9	57.1	31.4	32.2	33.9	38.9	44.1	49.4	51.8
	術後在院日数	34.2	5.8	21.2	45.0	27.0	27.7	30.1	34.1	37.4	43.0	43.5
	術前在院日数	5.6	3.8	1.0	17.4	1.8	2.2	2.7	5.0	6.8	11.5	13.4



【図の説明】

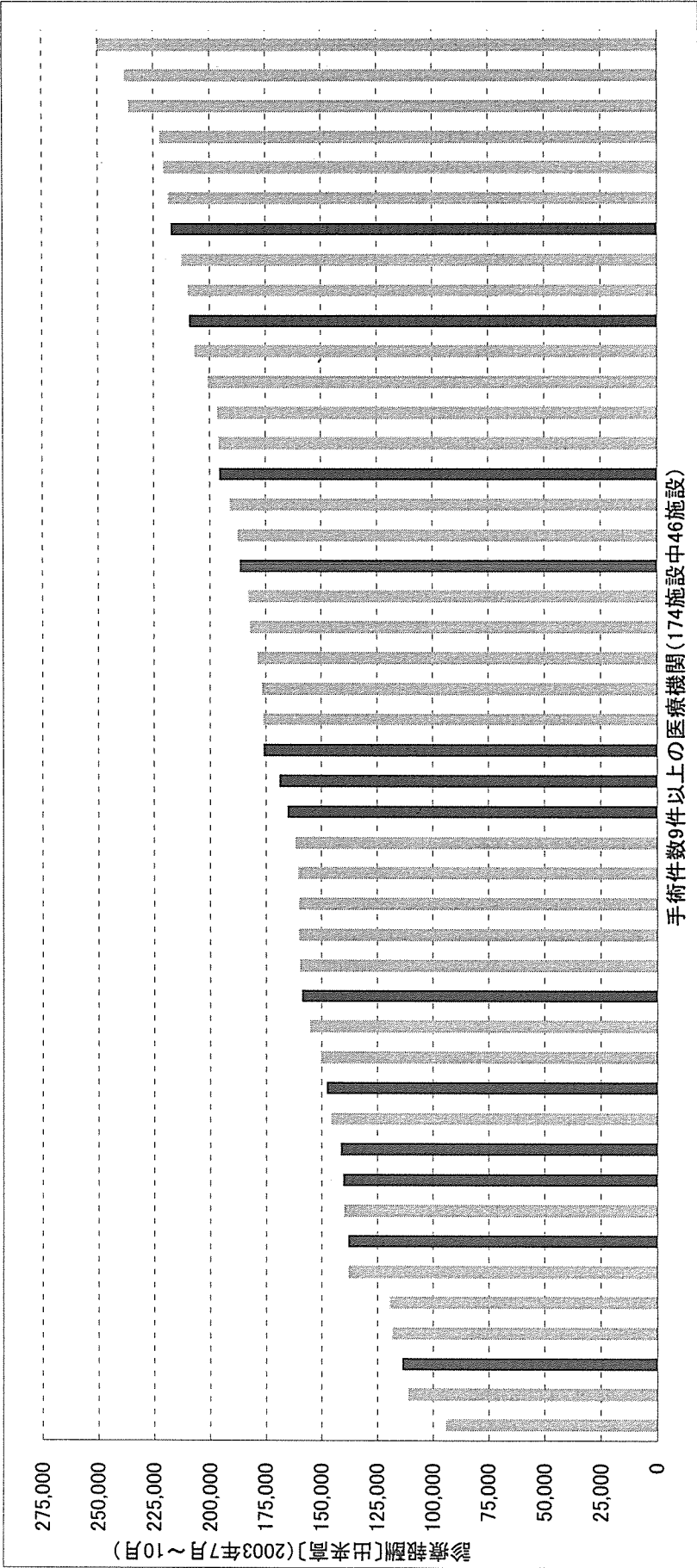
外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(7件以上)とした。

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(7件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は48施設であった。膝関節症における人工関節置換術の術前在院日数は、1.0日から17.4日と股関節症よりもバラツキは小さいものの依然として大きな差が生じている。

膝関節症人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 762)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
膝関節症(変形性を含む)	診療報酬[出来高]	174,174	36,372	94,022	249,641	115,070	128,672	148,212	176,009	199,657	219,391	232,380	
	特定機能病院(33施設)[出来高換算総点数]	177,382	38,453	94,022	249,641	115,539	123,108	155,370	178,440	206,897	221,630	236,583	
	その他の参加病院(13施設)[出来高制度の総点数]	166,033	30,298	113,992	217,185	128,383	138,446	141,560	165,166	186,364	206,452	212,380	



【図の説明】

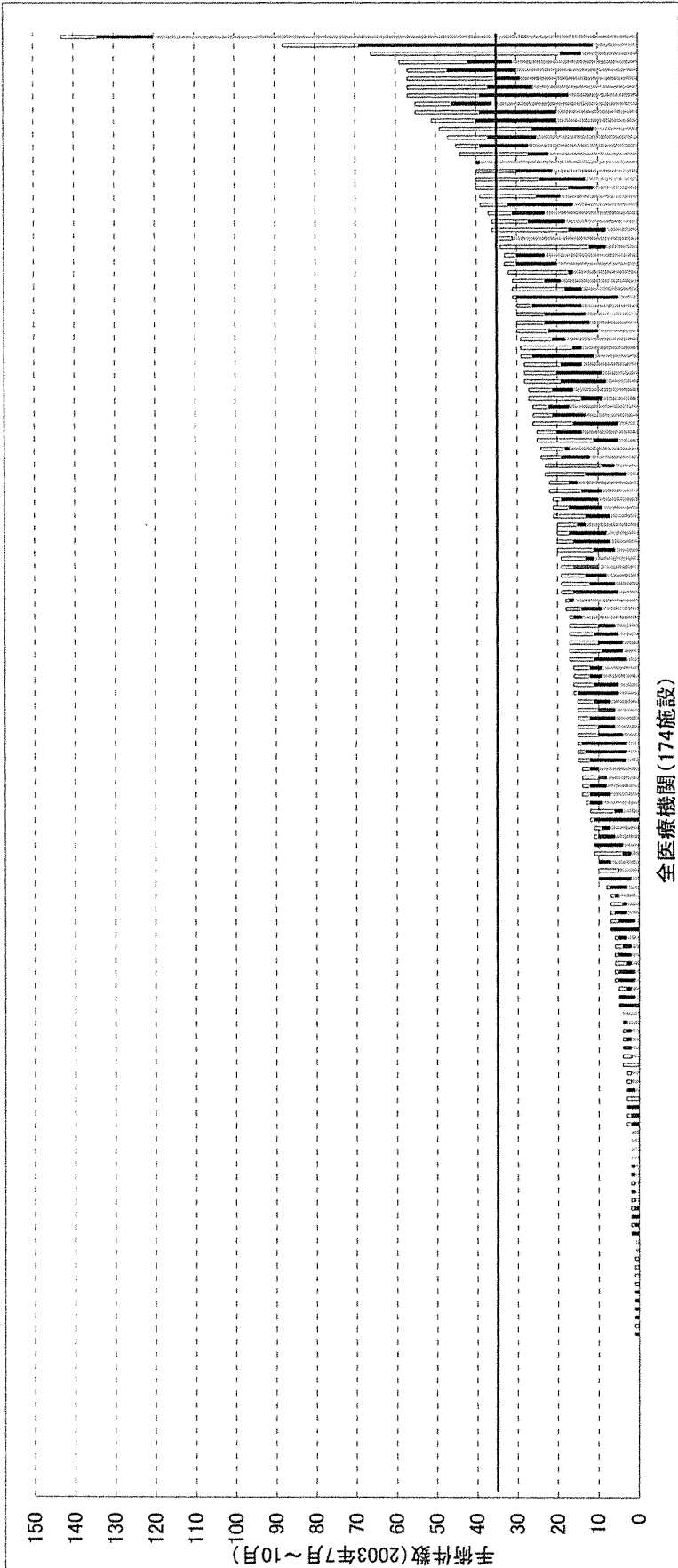
外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(9件以上)とした。単位は診療報酬点数である。
■: 特定機能病院
□: その他の参加病院

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(9件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は46施設であった。膝関節症人工関節置換術施行症例の施設別1入院あたり診療報酬〔出来高〕は、中央値は約18万点で、バラツキが大きな分布となっていた。特定機能病院とそれ以外の参加病院との間の診療報酬の差は小さかった。

【特掲診療料施設基準 該当施設数の検討】MDC07に分類された人工関節置換術の施行件数

解析対象DPC番号の範囲 07xxxxxx							パーセンタイル						
分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
筋骨格系疾患	その他の疾患における人工関節置換術	826	4.7	6.4	0	47	0	0	0	3	7	13	17
	膝関節症における人工関節置換術	853	4.9	6.3	0	58	0	0	1	3	7	11	14
	股関節症における人工関節置換術	1,377	7.9	11.8	0	120	0	0	1	5	11	19	25



【図の説明】

人工関節置換術における人工関節置換術 (Kコード: K082) : 膝関節症における人工関節置換術 (Kコード: K082)
その他の疾患 (股関節骨髄壊死、リウマチ疾患、全身性臓器障害を自己免疫性疾患)における人工関節置換術 (Kコード: K082)

【コメント】

現行の診療報酬制度 (平成16年版) では、人工関節置換術を年間50症例以上行う医療機関には診療報酬が加算されることから、本データにおける加算対象施設数を調べた。本解析のデータ収集期間は4ヶ月であるため、年間100件に相当する34件で補助線を引いた。その結果、全体 (174施設) の15%にあたる26施設がこの条件を満たしていた。

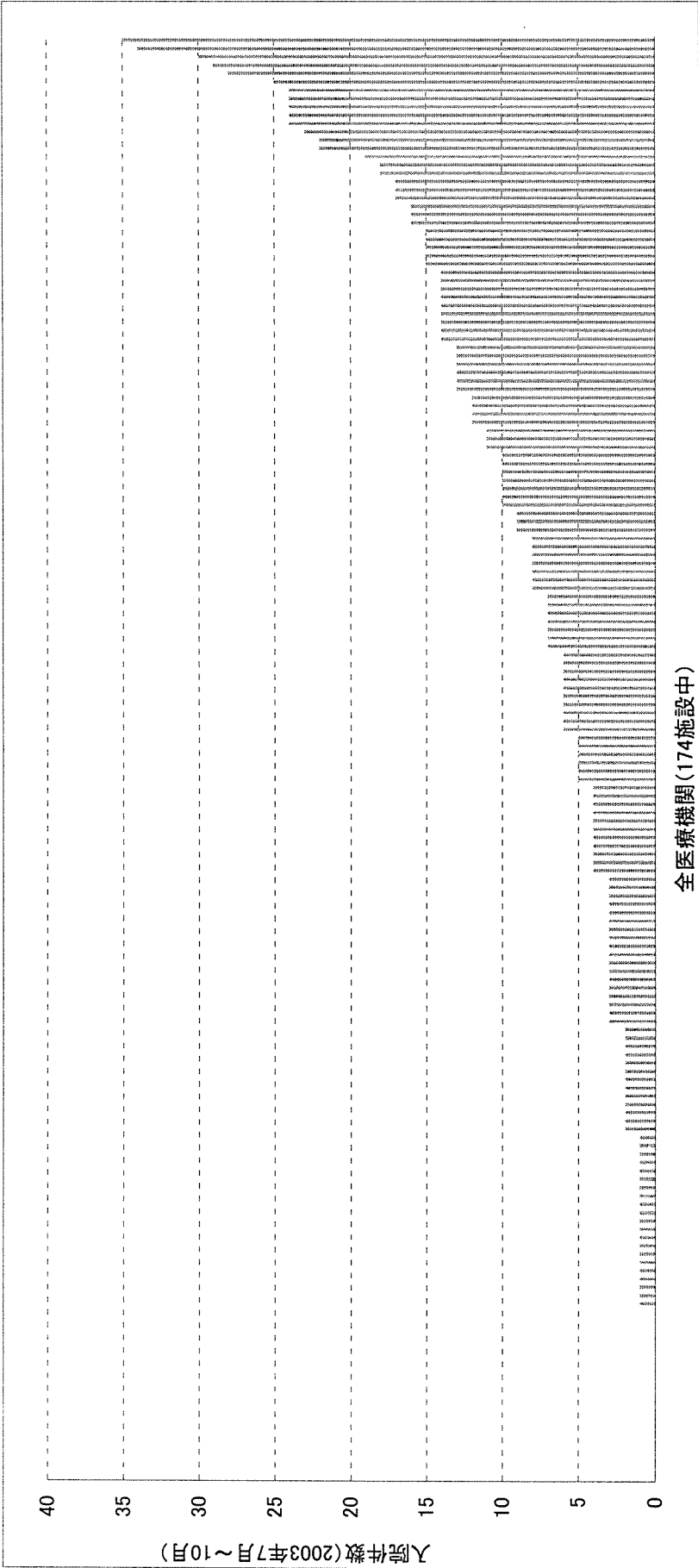
MDC08

皮膚・皮下組織の疾患

帯状疱疹の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 0800203

分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
							5	10	25	50	75	90	95
帯状疱疹	入院件数	1,319	7.6	7.6	0	35	0	0	2	5	12	17	24



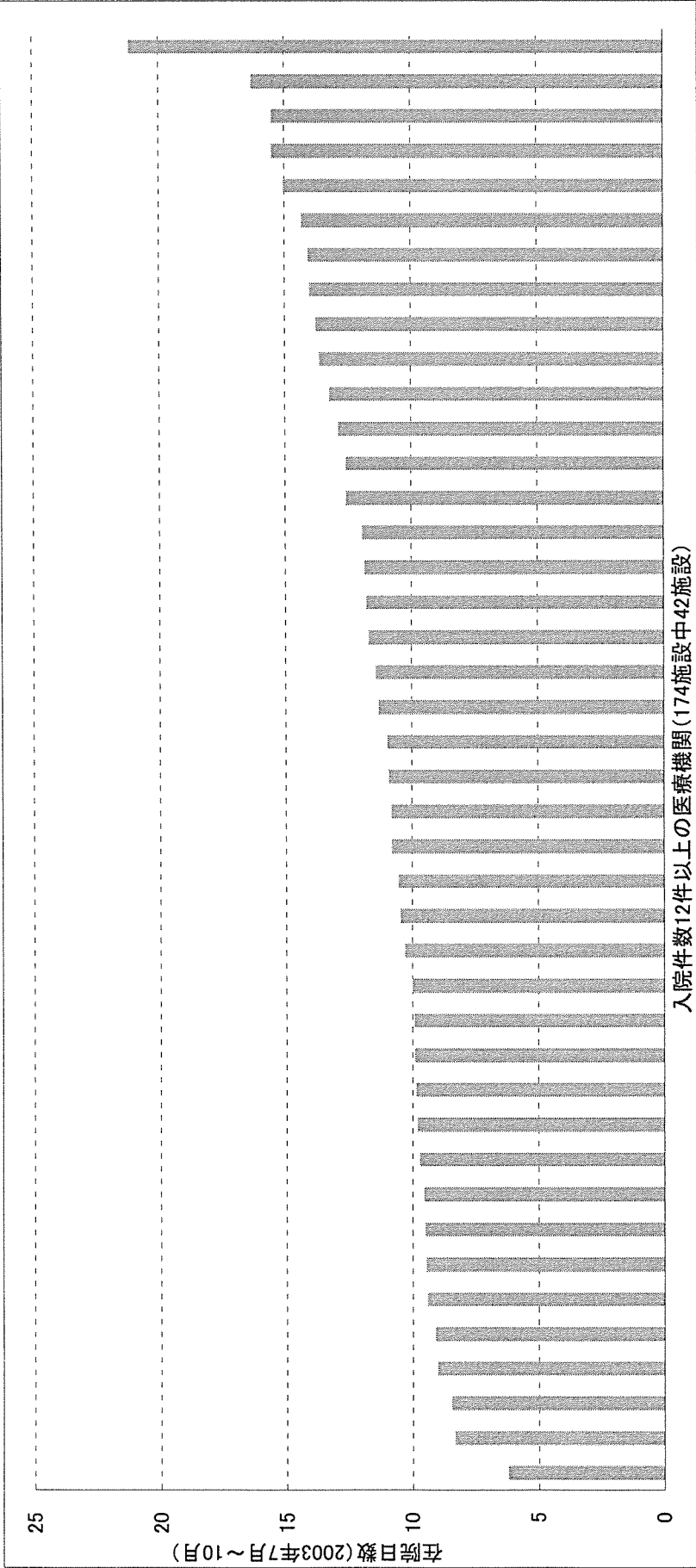
【図の説明】

【コメント】

- ・帯状疱疹の症例数は、MDC 08の全症例数の約16%を占めていた。
- ・帯状疱疹の症例数1例以上の医療機関は153施設(全体の88%)において見られた。
- ・症例数の多い医療機関は、特定機能病院よりもその他の参加病院に多く見られた。

帯状疱疹における平均在院日数(N = 755)

解析対象DPC番号の範囲		0800203		パーセンタイル								
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
帯状疱疹	在院日数	11.6	2.7	6.2	21.2	8.5	9.1	9.8	10.9	13.2	15.0	15.5



【図の説明】

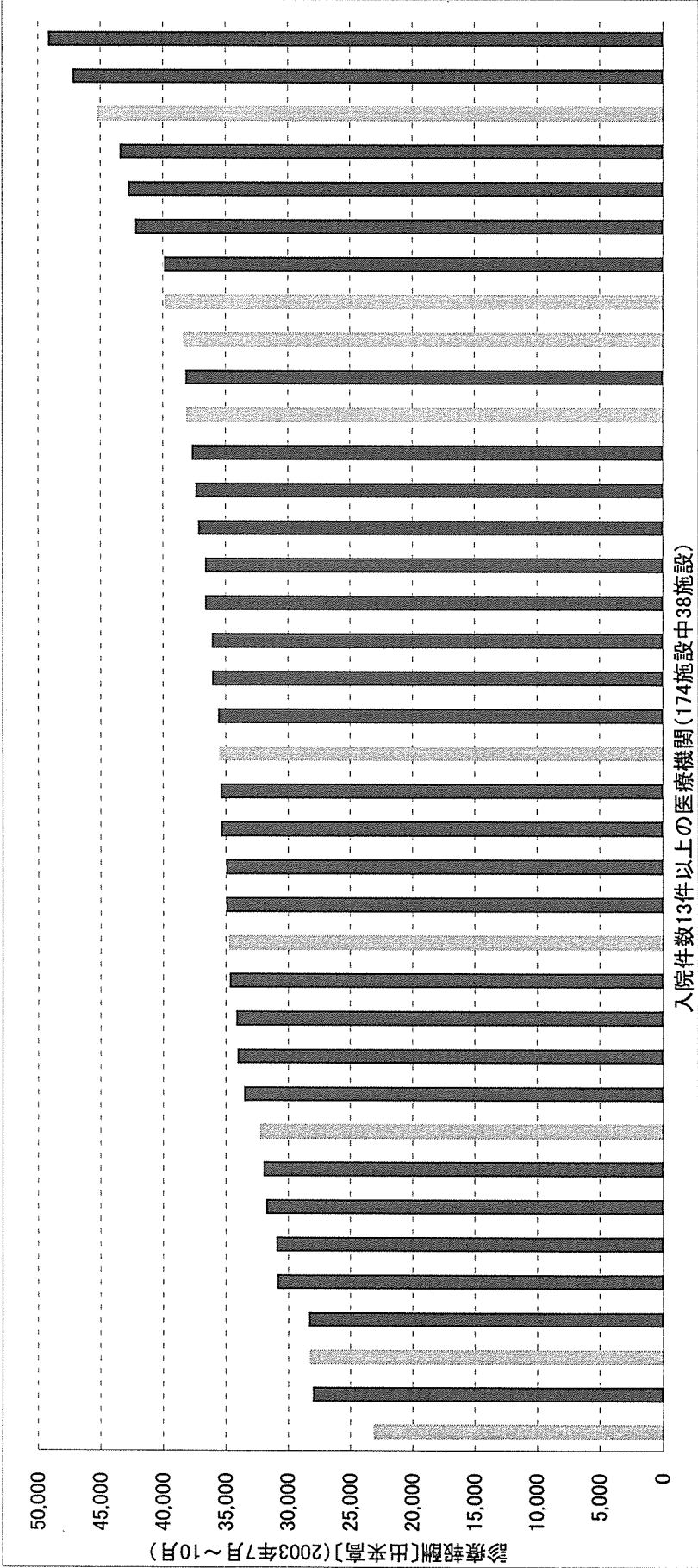
外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。
[Bar] : 平均在院日数

【コメント】

・帯状疱疹の平均在院日数には、医療機関でバズキが見られた。

帯状疱疹における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 712)

解析対象DPC番号の範囲		0800203		パーセンタイル									
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
帯状疱疹	診療報酬〔出来高〕	36,085	5,303	23,172	49,205	28,264	30,133	33,703	35,556	38,164	42,987	45,511	
	特定機能病院(9施設)〔出来高換算総点数〕	36,404	4,955	28,043	49,205	29,368	30,956	34,102	35,608	37,683	42,923	45,724	
	その他の参加病院(29施設)〔出来高制度の総点数〕	35,056	6,526	23,172	45,205	25,225	27,277	32,278	35,505	38,377	40,884	43,044	



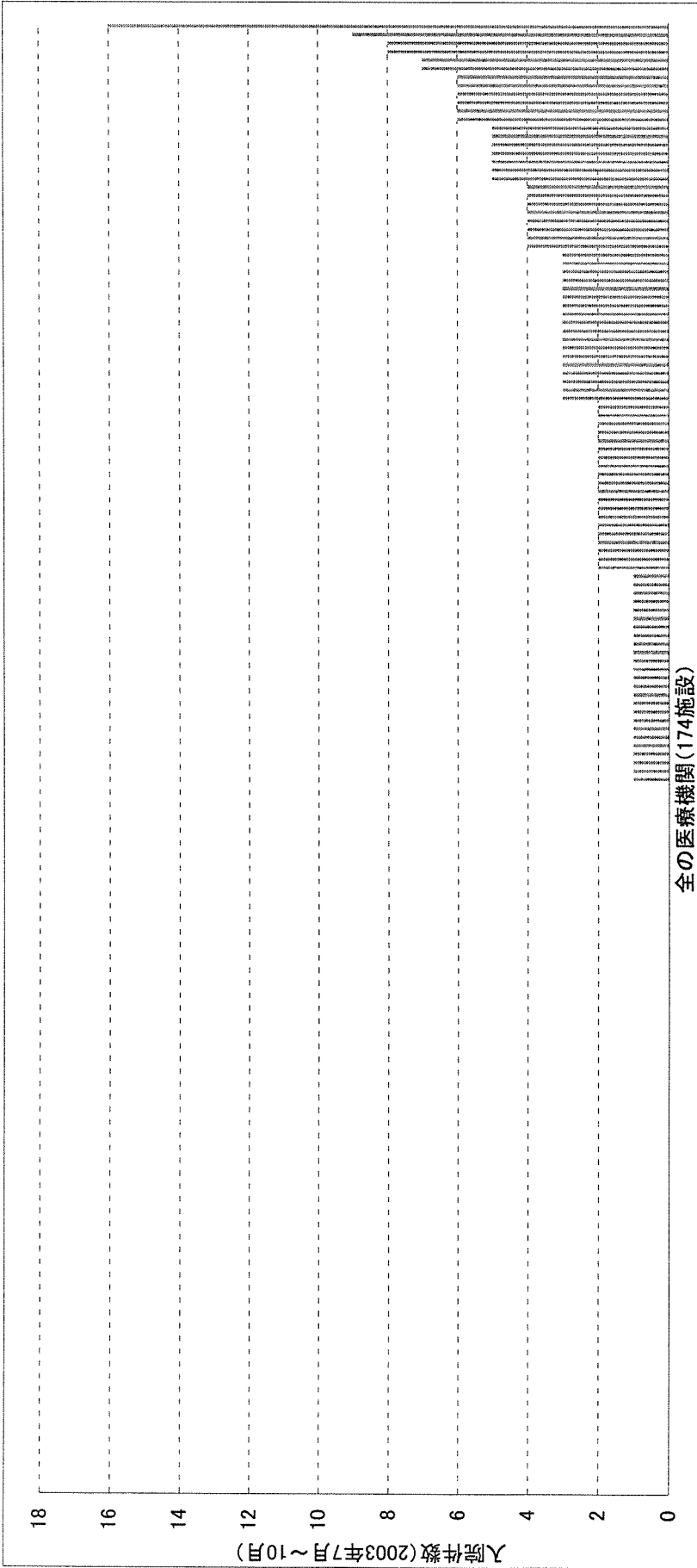
【図の説明】
外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。
■: 特定機能病院
■: その他の参加病院

【コメント】
・帯状疱疹の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、特定機能病院よりその他の参加病院の方が高い傾向があった。

水疱症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 0801103

解析対象DPC番号の範囲 0801103													
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセントイル						
							5	10	25	50	75	90	95
水疱症	入院件数	277	1.6	2.3	0	16	0	0	0	1	3	1	6



【図の説明】

・水疱症の症例数

【コメント】

- ・水疱症の症例数1例以上の医療機関は90施設(全体の52%)において見られた。
- ・水疱症の症例数は医療機関で大きなバラツキが見られた。

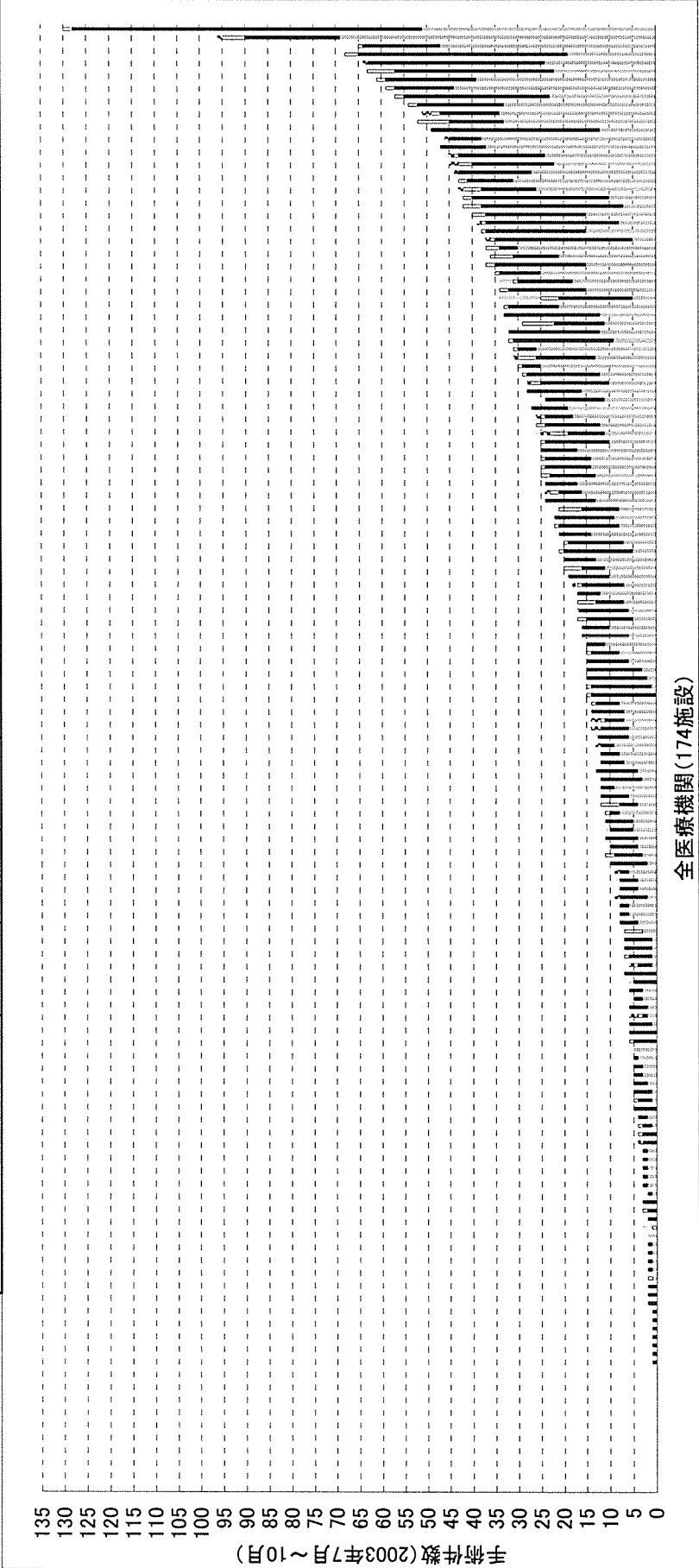
MDC09

乳房の疾患

乳癌手術症例の術式別手術施行件数

解析対象DPC番号の範囲 0900103x01

分類名	解析対象	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
							拡大乳房切除術施行件数	19	0.1	0.7	0	9	0
乳房の悪性腫瘍	乳房切除術（胸筋切除あり）施行件数	32	0.2	0.5	0	2	0	0	0	0	0	1	1
	単純乳房切除術施行件数	151	0.9	1.4	0	7	0	0	0	0	1	3	4
	乳房切除術（胸筋切除なし）施行件数	1,465	8.4	9.9	0	77	0	0	2	6	12	20	29
	乳房部分切除術（乳房温存術）施行件数	1,570	9.0	11.3	0	69	0	0	1	5	12	24	33



全医療機関(174施設)

【図の説明】

ICD-10: C50を使用した

：乳房切除術胸筋切除なし[DPC手術コード:01かつKコード:K4763]

：乳房切除術胸筋切除あり[DPC手術コード:01かつKコード:K4764]

：乳房部分切除術(乳房温存術)[DPC手術コード:01かつKコード:K4762]

：単純乳房切除術施行件数[DPC手術コード:01かつKコード:K4761]

：拡大乳房切除術施行件数[DPC手術コード:01かつKコード:K4765]

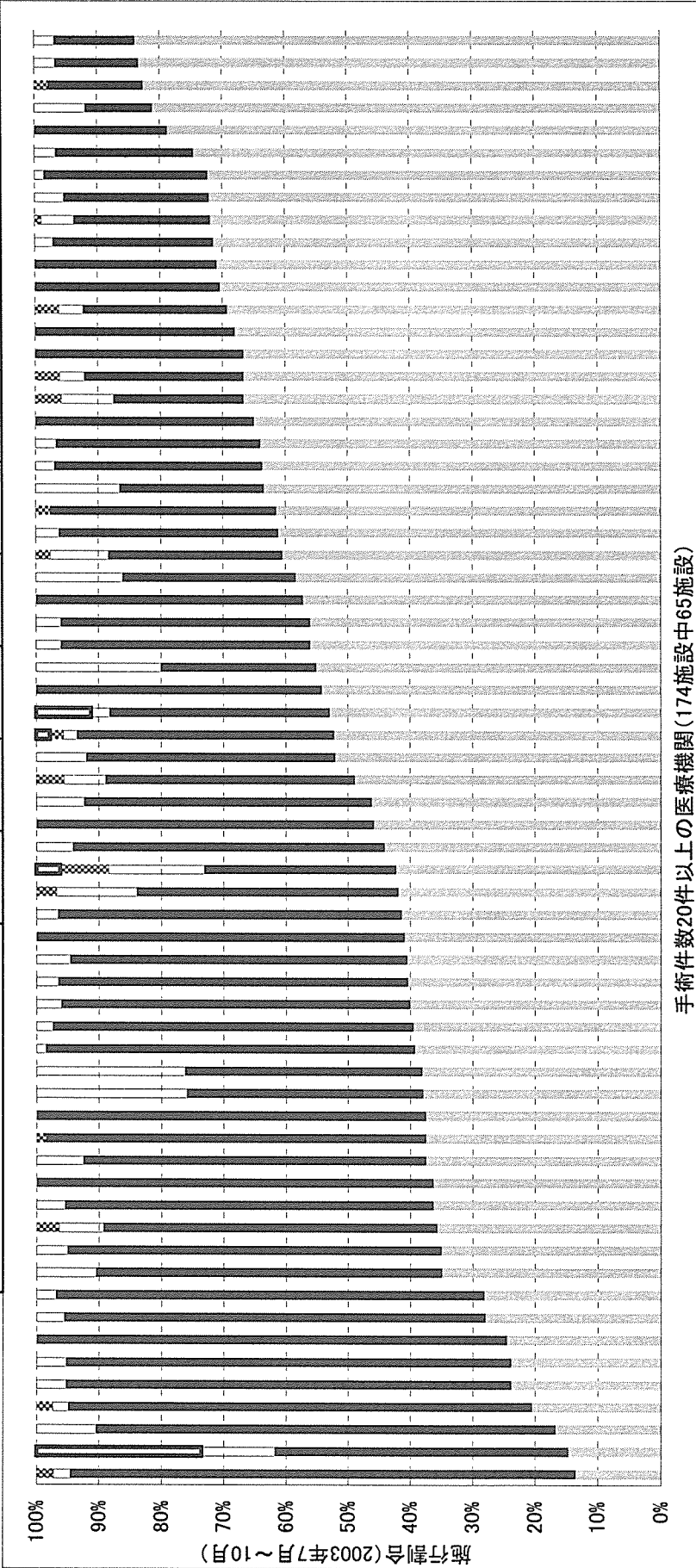
【コメント】

174施設中、手術件数1件以上の159施設(全施設のうち91%、合計3,237件)を解析対象とした。乳房温存術(K4762:乳房部分切除術)は手術件数において胸筋切除のない乳房切除術(K4763)よりも100例ほど多かったが、ほぼ同じ比率であった(乳房温存術の占める割合:49%)。1施設あたりの乳房温存術の施行件数は、4か月間で中央値5件であったが、施設間のバラツキは大きく、最小0件、最大69件であった。

乳癌手術症例の術式別手術施行割合 (N = 2,497)

解析対象DPC番号の範囲 0900103x01

解析対象DPC番号の範囲						0900103x01										パーセンタイル									
分類名	解析対象					平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95									
乳房の悪性腫瘍	拡大乳房切除術施行割合					1%	3%	0%	26%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%									
	乳房切除術(胸筋切除あり)施行割合					1%	2%	0%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	4%									
	単純乳房切除術施行割合					5%	5%	0%	24%	0%	0%	2%	4%	7%	12%	15%									
	乳房切除術(胸筋切除なし)施行割合					43%	18%	11%	81%	16%	22%	28%	40%	56%	68%	73%									
	乳房部分切除術(乳房温存術)施行割合					51%	18%	14%	84%	21%	26%	38%	52%	67%	72%	81%									



【図の説明】

20件以上の施設を対象とし、ICD-10: C50を使用した

：乳房切除術胸筋切除なし[DPC手術コード:01かつKコード:K4763]

：乳房切除術胸筋切除あり[DPC手術コード:01かつKコード:K4764]

：乳房部分切除術(乳房温存術)[DPC手術コード:01かつKコード:K4762]

：単純乳房切除術施行件数[DPC手術コード:01かつKコード:K4761]

：拡大乳房切除術施行件数[DPC手術コード:01かつKコード:K4765]

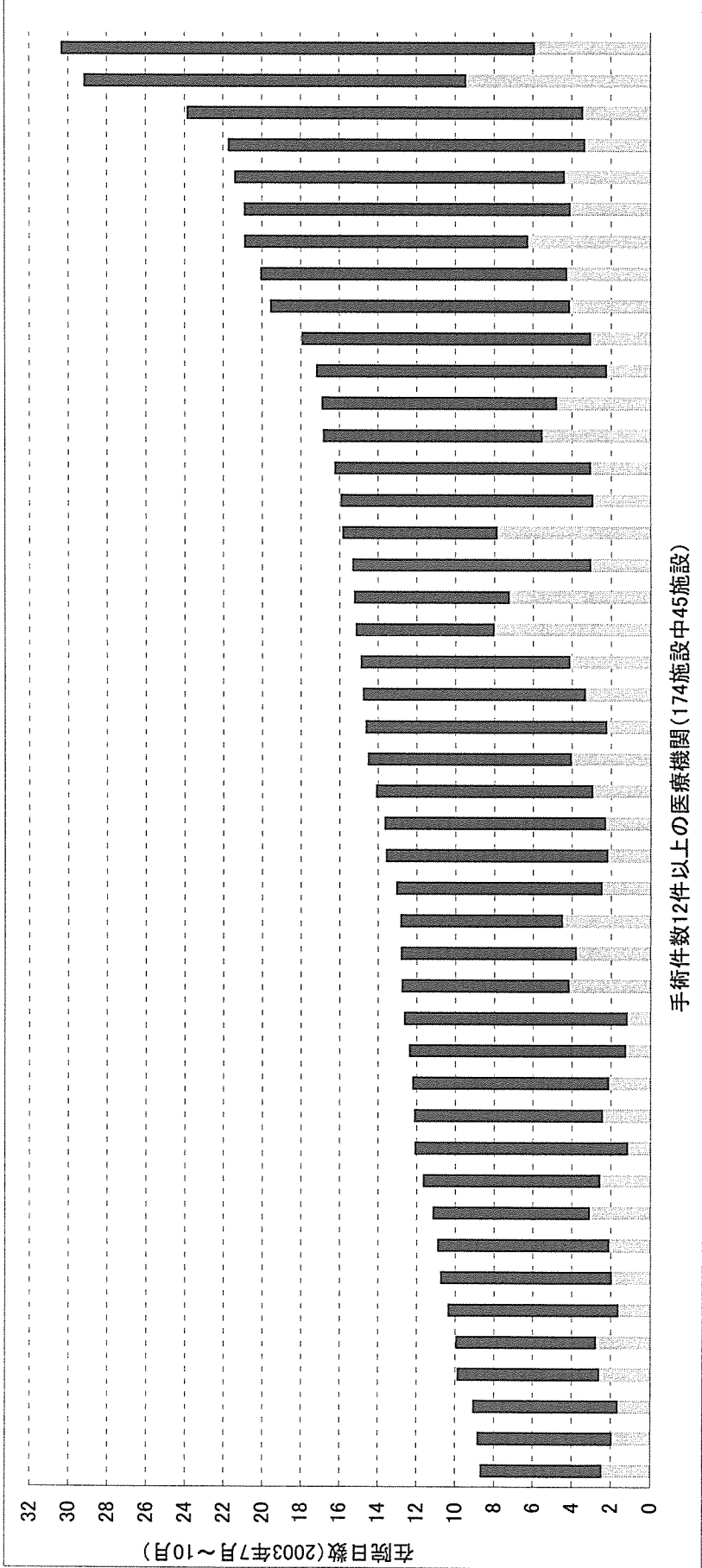
【コメント】

手術件数20件以上(件数上位25%に相当)の65施設を解析対象とした。乳房温存術と乳房切除術はほぼ同率で、平均値では乳房温存術施行割合がごくわずか多かった(51%)。1施設あたりの乳房温存術施行割合の中央値は52%であったが、施設間のバラツキは大きく、最小14%、最大84%であった。

乳房温存術施行症例における平均在院日数(N = 1,030)

解析対象DPC番号の範囲 0900103x01

分類名	解析対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
						5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍における乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例	在院日数	15.2	4.9	8.7	30.4	9.2	10.1	12.1	14.5	16.9	21.2	23.4
	術後在院日数	11.7	4.0	6.3	24.5	7.2	7.4	8.8	11.2	13.3	17.0	19.5
	術前在院日数	3.5	1.9	1.1	9.4	1.3	1.8	2.2	3.0	4.1	6.1	7.7



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。
ICD-10: C50、K4762を用いた。

術前在院日数

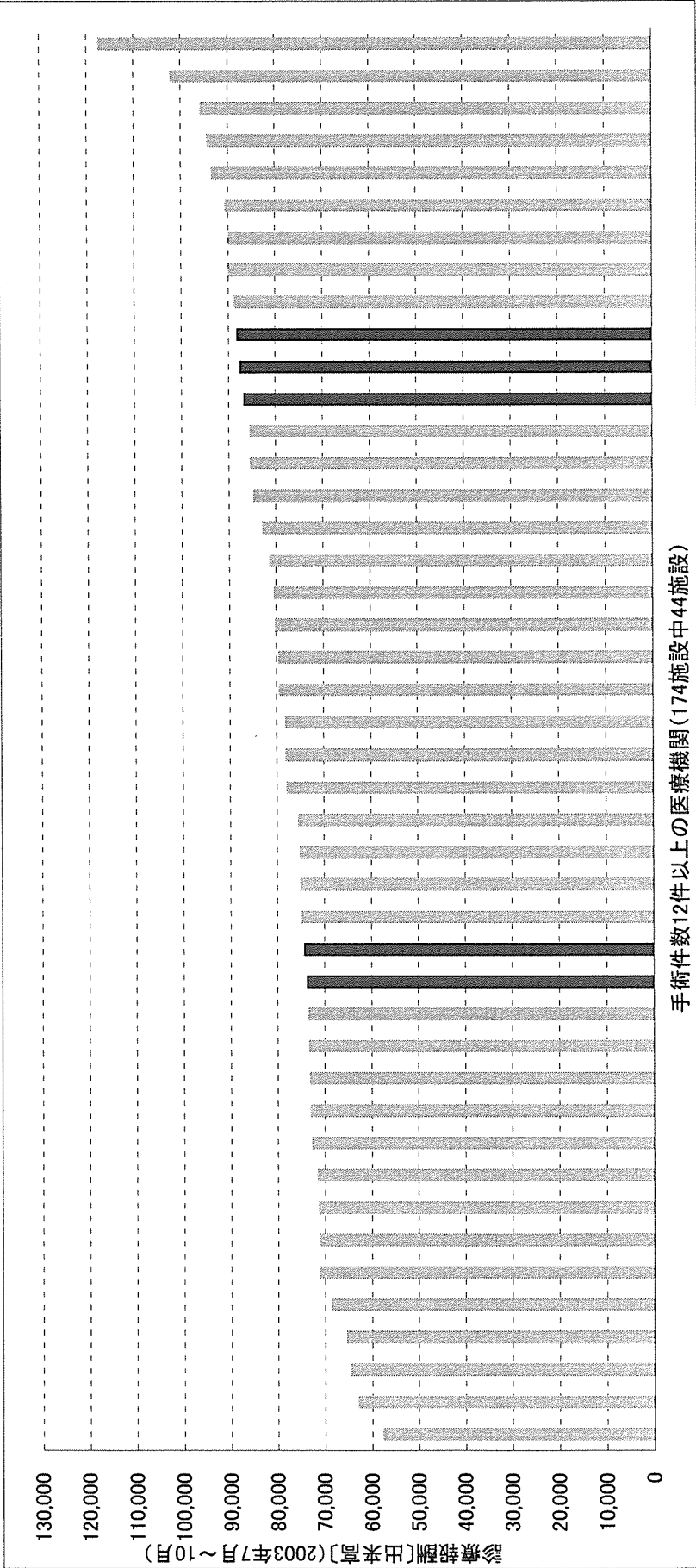
術後在院日数

【コメント】

手術件数12件以上(件数上位25%に相当)の45施設を解析対象とした。在院日数は中央値14.5日で8.7日から30.4日まで大きなバラツキがみられた。比較的控制可能な術前在院日数は、中央値3.0日、最小1.1、最大9.4日であったのに対し、術後在院日数のバラツキ幅は大きく、中央値11.2日、最小6.3日、最大24.5日となっていた。

乳房温存術施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値(N = 1,484)

解析対象DPC番号の範囲		0900103x01											
分類名	解析対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル							
						5	10	25	50	75	90	95	
	診療報酬[出来高]	80,005	11,071	57,759	117,552	64,617	69,556	73,139	78,111	86,987	92,693	95,658	
	特定機能病院(39施設)[出来高換算総点数]	79,724	11,499	57,759	117,552	64,311	68,187	72,983	78,092	85,494	93,712	96,508	
	その他の参加病院(5施設)[出来高制度の総点数]	82,195	7,390	73,802	88,309	73,931	74,061	74,449	86,768	87,647	88,044	88,176	



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

ICD-10: C50、K4762を用いた。

特定機能病院

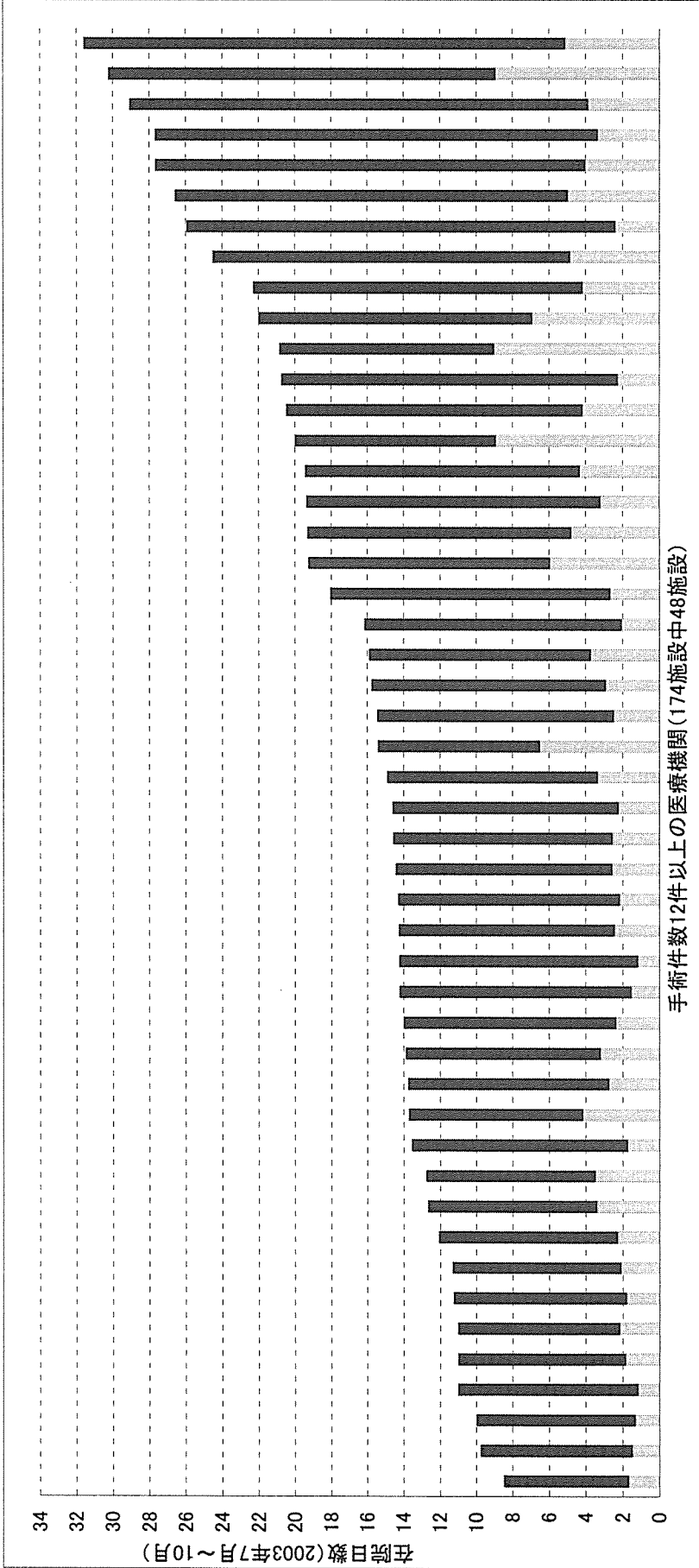
その他の参加病院

【コメント】

外れ値両側5%を除外した手術件数12件以上(件数上位25%に相当)の44施設を解析対象とした。全施設における診療報酬[出来高]の中央値は約8万点で、特定機能病院の診療報酬[出来高]はそれ以外の病院よりも約1万点高額であった。

乳房切除術施行症例における平均在院日数(N = 1,042)

解析対象DPC番号の範囲				0900103x01											パーセンタイル										
分類名	解析対象		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95												
	在院日数		17.3	5.9	8.5	31.6	10.4	11.0	13.7	15.2	20.5	26.9	28.6												
	術後在院日数		13.8	5.0	6.8	26.5	8.8	9.1	9.8	12.2	15.6	22.2	24.1												
	術前在院日数		3.4	2.0	1.1	9.0	1.4	1.6	2.2	2.8	4.1	6.1	8.2												



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25% (12件以上) の施設を解析対象とした。

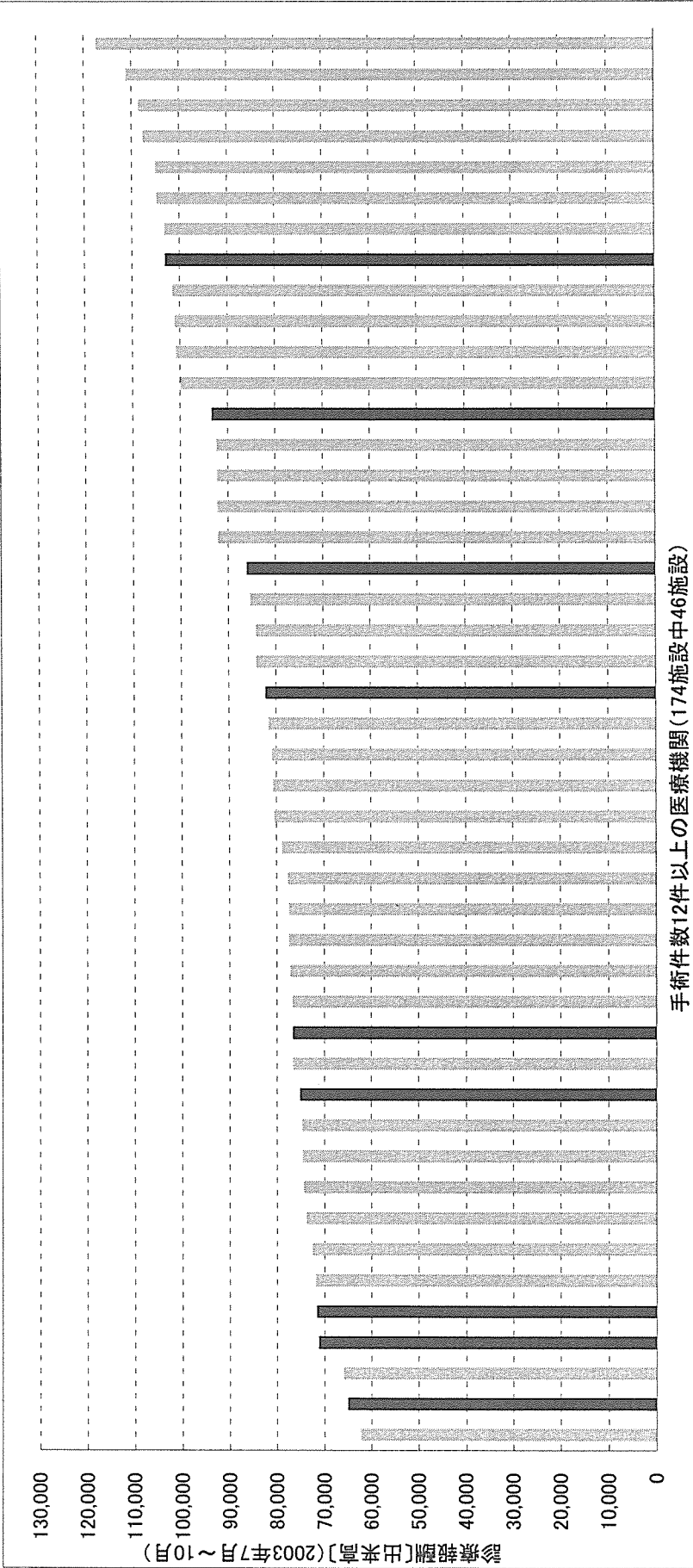
ICD-10: C50, K4761, K4763, K4764, K4765を用いた。

【コメント】

手術件数12件以上 (件数上位25%に相当) の48施設を解析対象とした。在院日数は中央値15.2日で8.5日から31.6日まで大きなバラツキがみられた。比較的コントロール可能な術前在院日数は、中央値2.8日、最小1.1、最大9.0日であったのに対し、術後在院日数のバラツキ幅は大きく、中央値12.2日、最小6.8日、最大26.5日となっていた。

乳房切除術施行症例における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 1,026)

解析対象DPC番号の範囲		0900103x01										
分類名	解析対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍	診療報酬〔出来高〕	85,693	13,791	62,329	117,380	67,216	71,708	75,523	81,301	98,222	104,809	108,136
	特定機能病院(37施設)〔出来高換算総点数〕	86,966	14,042	62,329	117,380	70,620	73,237	76,736	81,606	100,818	105,943	108,919
	その他の参加病院(9施設)〔出来高制度の総点数〕	80,460	12,010	64,969	103,016	67,465	69,961	71,613	76,648	86,010	95,241	99,129



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

ICD-10:C50、K4761、K4763、K4764、K4765を用いた。

特定機能病院

その他の参加病院

【コメント】

外れ値両側5%を除外した手術件数12件以上(件数上位25%に相当)の46施設を解析対象とした。全施設における診療報酬〔出来高〕の中央値は約7万点で、特定機能病院の診療報酬〔出来高〕はそれ以外の病院よりも約1万点高額であった。

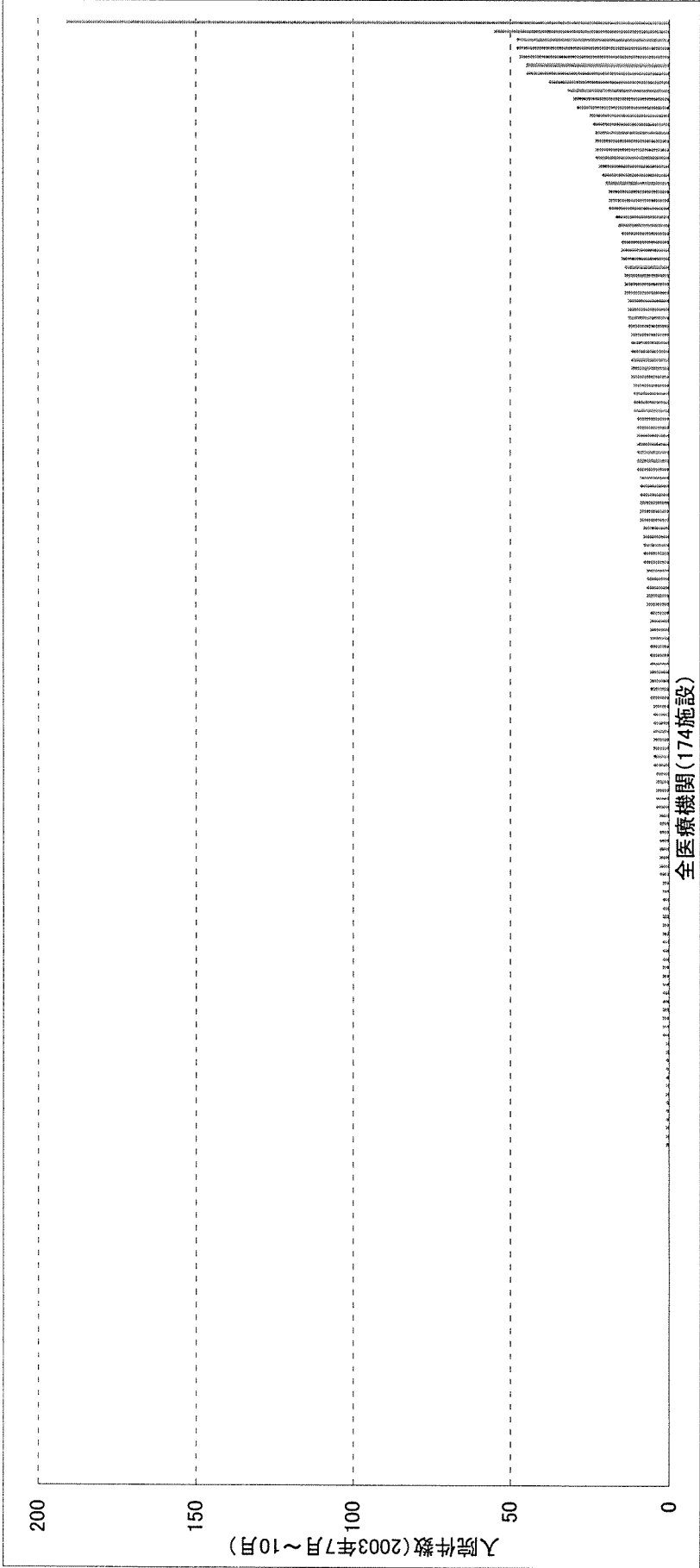
MDC10

内分泌・栄養・代謝に関する疾患

甲状腺の悪性腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1000203

分類名	対象		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
	入院件数	入院件数						5	10	25	50	75	90	95
甲状腺の悪性腫瘍		1,586		9.1	17.5	0	191	0	0	1	5	11	22	31



【図の説明】

：甲状腺の悪性腫瘍の症例数

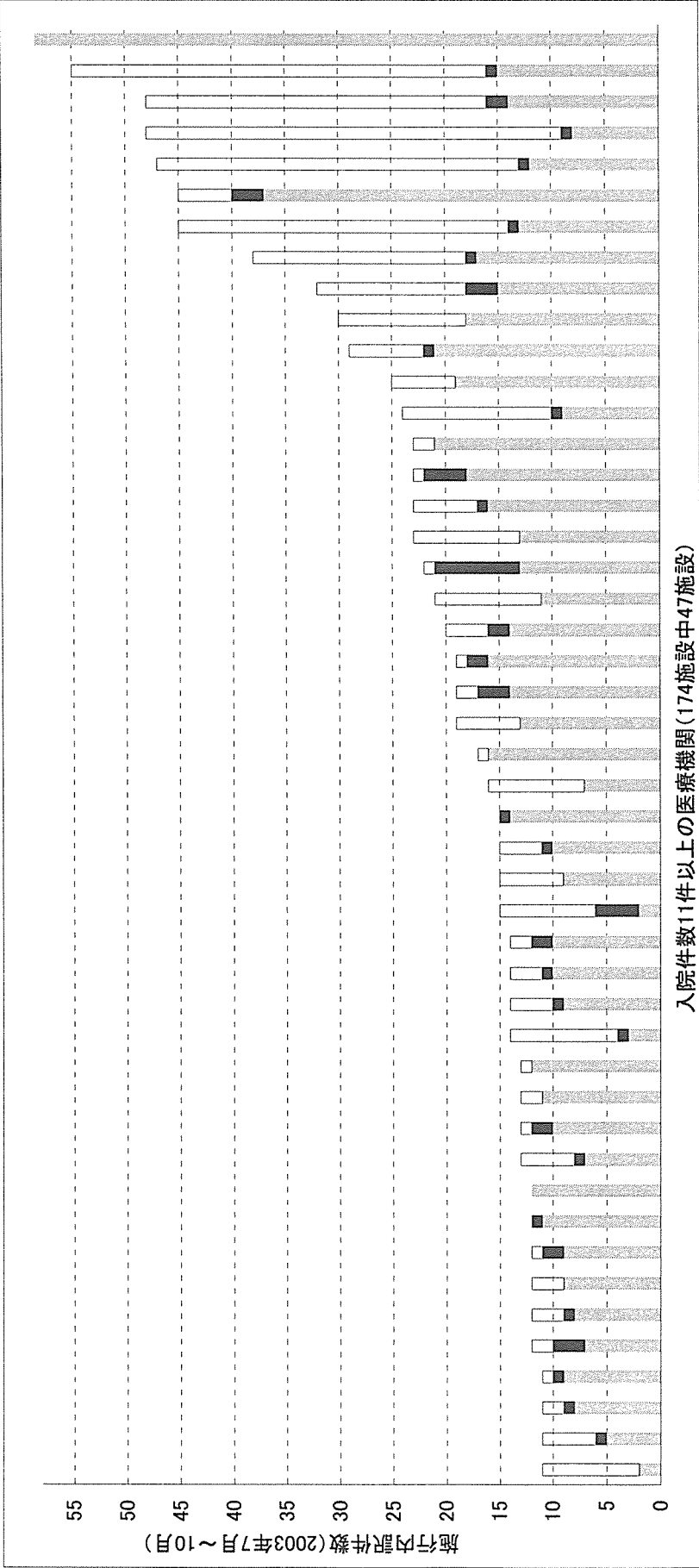
【コメント】

- ・甲状腺の悪性腫瘍の症例数1例以上の医療機関は134施設(全体の77%)において見られた。
- ・甲状腺の悪性腫瘍の症例数は、医療期間で大きなバラツキが見られた。

甲状腺の悪性腫瘍の施行内訳件数(N = 1,186)

解析対象DPC番号の範囲 1000203

解析対象DPC番号の範囲		1000203		パーセンタイル									
分類名	対象	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺の悪性腫瘍	11例以上施設での全入院件数	1186	25.2	27.4	11	191	11	12	13	17	25	46	48
	手術なし	432	9.2	12.2	0	53	0	1	2	5	10	31	38
	その他の手術	64	1.4	1.6	0	8	0	0	0	1	2	3	4
	全摘・亜全摘	690	14.7	18.6	2	133	4	7	9	12	15	18	21



【図の説明】

件数上位25%(11件以上)の施設を解析対象とした。(最も症例数の多かった施設は55例でできてある)

全摘・亜全摘

その他の手術

手術なし

【DPC手術コード:01, 02】

【DPC手術コード:03, 04, 97】

【DPC手術コード:99】

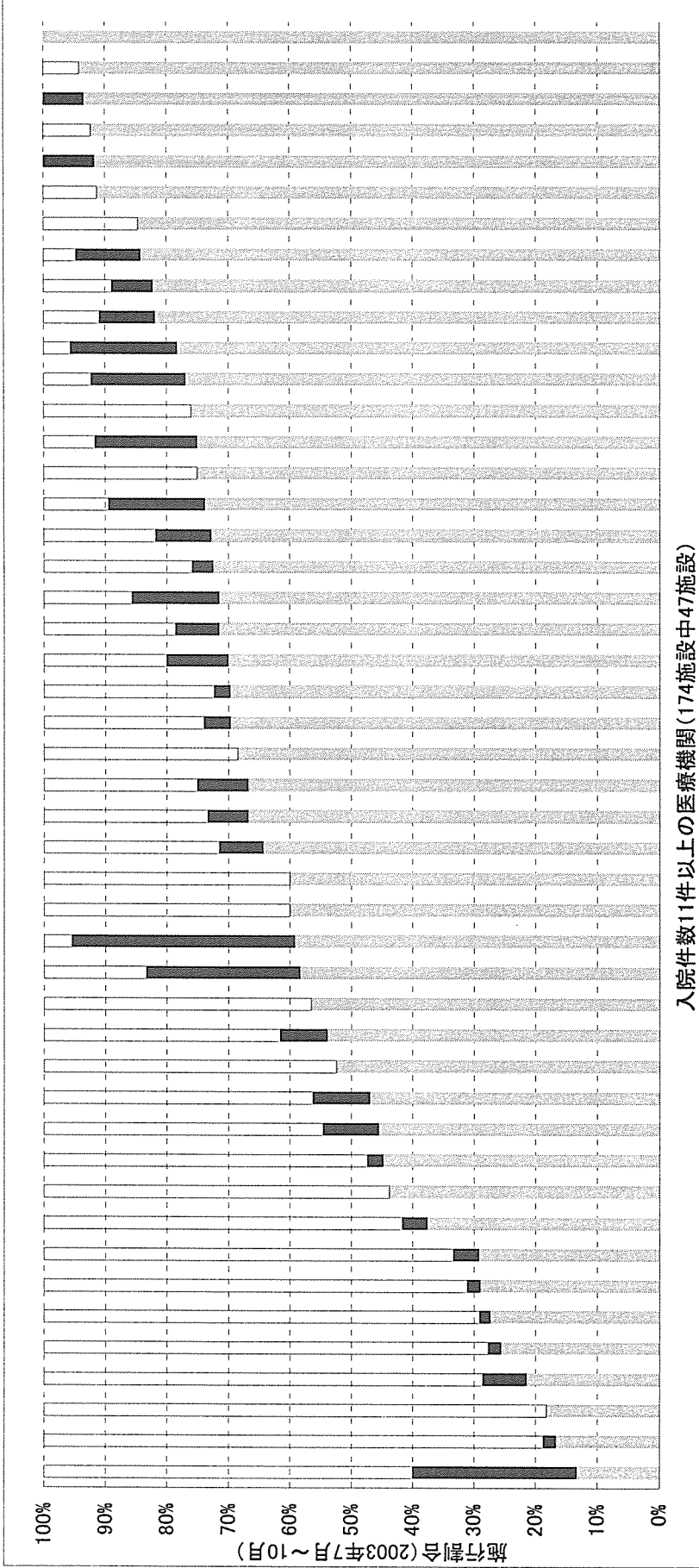
【コメント】

- ・甲状腺の悪性腫瘍では、摘出術の割合が多かった。
- ・最も症例数が多かった施設では、全摘・亜全摘が70%、その他の手術が3%、治療なしが28%であった。

甲状腺の悪性腫瘍の施行割合 (N = 1,186)

解析対象DPC番号の範囲 1000203

分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
						5	10	25	50	75	90	95
甲状腺の悪性腫瘍	手術なし	31%	24%	0%	82%	1%	5%	9%	25%	45%	70%	72%
	その他の手術	6%	7%	0%	36%	0%	0%	0%	4%	9%	16%	17%
	全摘・亜全摘	63%	22%	17%	100%	22%	28%	48%	69%	77%	91%	93%



【図の説明】

件数上位25%(11件以上)の施設を解析対象とした。

全摘・亜全摘

【DPC手術コード:01, 02】

その他の手術

【DPC手術コード:03, 04, 97】

手術なし

【DPC手術コード:99】

【コメント】

・甲状腺の悪性腫瘍では、摘出術の割合が多かった。